

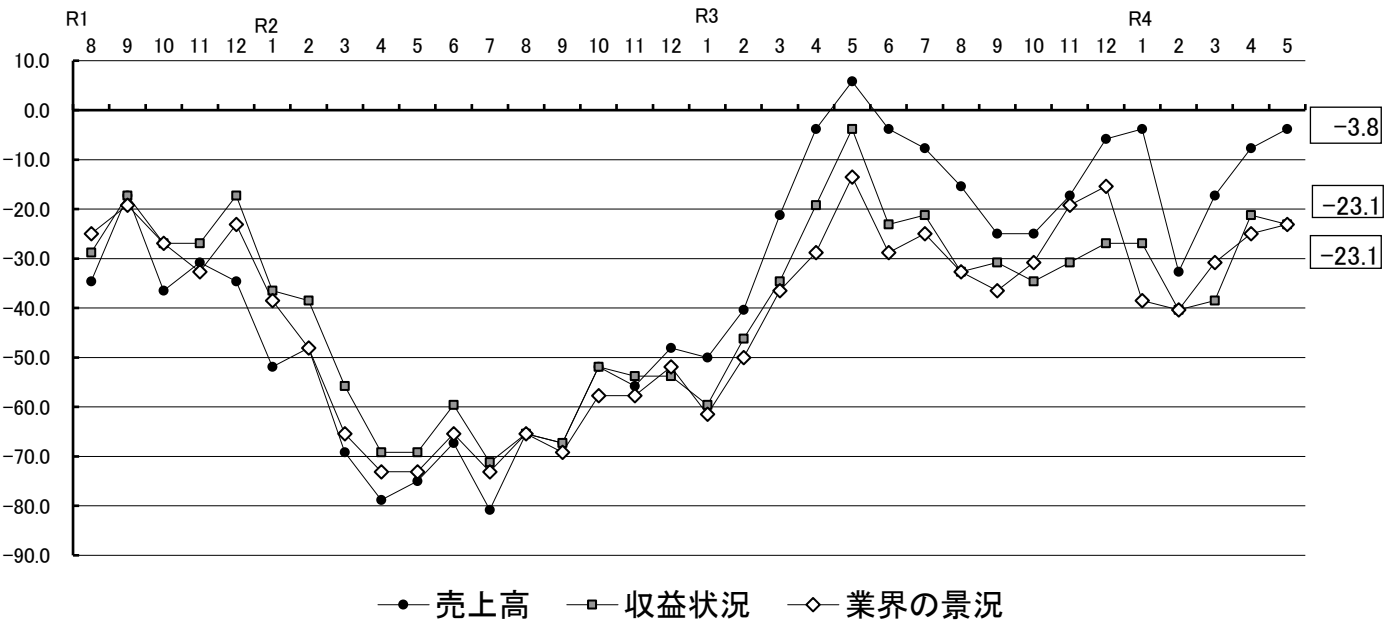
中小企業団体情報連絡員報告結果(令和4年5月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員(中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員52名に委嘱)による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 主要3指標「売上高」「業界の景況」は上昇したが「収益状況」はわずかに下降した。
- 製造業で「一般機器」、非製造業で「小売業(飲食業含む)」が特に厳しい。
- 燃料や資材の高騰、円安による仕入価格の上昇、ウクライナ情勢などから、先行き不透明感が強まっている。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上高	-3.8	+3.8	-1.4	+1.8
収益状況	-23.1	-1.9	-28.9	-0.2
業界の景況	-23.1	+1.9	-23.7	+1.0

売上高

当月の県内売上高DI値は、前月より3.8ポイント上昇し、-3.8ポイントとなった。全国においては、前月より1.8ポイント上昇し、-1.4ポイントとなった。

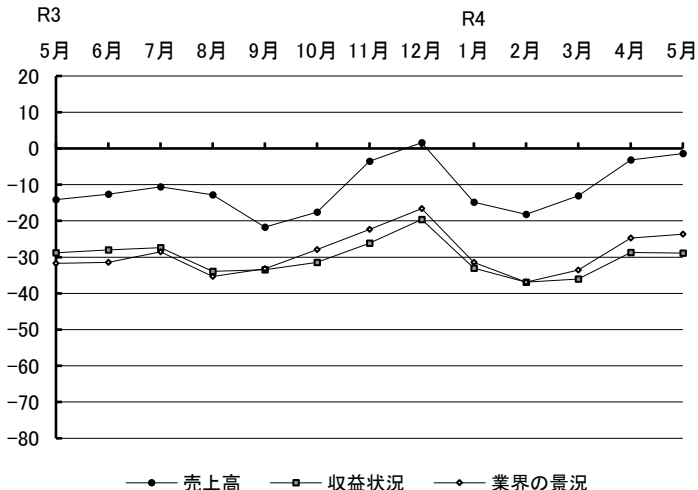
収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より1.9ポイント下降し、-23.1ポイントとなった。全国においては、前月より0.2ポイント下降し、-28.9ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より1.9ポイント上昇し、-23.1ポイントとなった。全国においては、前月より1.0ポイント上昇し、-23.7ポイントとなった。

全国集計結果の推移



-概況-

5月の前年同月比DI値は、前月と比べ9指標中5指標が上昇した。主要3指標は「売上高」は3.8ポイント上昇、「収益状況」は1.9ポイント下降、「業界の景況」が1.9ポイント上昇となった。

業種別・指標別にみると、製造業全体では「一般機器」で「売上」「景況」が特に下降し厳しい。「一般機器」では、仕入資材の高値が続き一部調達が困難な状況も見受けられる。また、ウクライナ情勢・中国のロックダウン等による部品不足の影響などから減産が続き収益状況が悪化しているが、一部企業では前年同月と同水準となっており、減少傾向はあるものの改善が見受けられると前向きな報告もある。「木材・木製品」においても、引き続き資材の高値安定による収益の圧迫や受注生産減少により仕事量を確保出来ていない。非製造業においては、「小売業(飲食業含む)」で依然として仕入れ単価の上昇により厳しいマイナス状態が続いている。

原材料価格の高騰や部材不足等がさらに長期化している様相が見られる。各業界からは、依然として価格転嫁できないなどの声や、一部業種で人手不足が深刻化しているなどの報告もあがっている。今後も燃料や資材の高騰、急速な円安の進行に加え、国際情勢変化等の懸念要因もあり先行き不透明感が強まっている。

図表1 【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	0.0	25.0	25.0	-25.0	-50.0	-25.0	0.0	0.0	-50.0
繊維・同製品	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-50.0
木材・木製品	25.0	-25.0	100.0	0.0	-25.0	-25.0	25.0	-50.0	-50.0
印刷	-100.0	0.0	0.0	0.0	-100.0	0.0	-100.0	-100.0	-100.0
窯業・土石	0.0	-25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	-50.0	-25.0	25.0	-25.0	-25.0	-50.0	-50.0	-25.0	-50.0
一般機器	-75.0	-25.0	50.0	-25.0	-75.0	-25.0	-50.0	-25.0	-75.0
製造業	-16.0	-12.0	40.0	-12.0	-32.0	-20.0	-16.0	-20.0	-48.0
卸売業	66.7	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0		0.0	66.7
小売業	-28.6	-28.6	28.6	-28.6	-42.9	-28.6		-14.3	-42.9
サービス業	0.0		0.0	0.0	-16.7	16.7		16.7	33.3
建設業	20.0		0.0	0.0	-40.0	0.0		-40.0	0.0
運輸業	0.0		0.0	-25.0	0.0	0.0		0.0	-25.0
その他	50.0		0.0	0.0	50.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	7.4	-20.0	11.1	-7.4	-14.8	-3.7		-7.4	0.0
全体	-3.8	-14.3	25.0	-9.6	-23.1	-11.5	-16.0	-13.5	-23.1

図表2 【指標別DI値の推移】

	3年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4年 1月	2月	3月	4月	5月	前月比
売上高	5.8	-3.8	-7.7	-15.4	-25.0	-25.0	-17.3	-5.8	-3.8	-32.7	-17.3	-7.7	-3.8	3.8
在庫数量	-17.1	-14.3	-20.0	-17.1	-25.7	-8.6	-8.6	-20.0	-5.7	-8.6	-20.0	-17.1	-14.3	2.9
販売価格	3.8	-5.8	3.8	0.0	-3.8	3.8	5.8	11.5	9.6	15.4	21.2	25.0	25.0	0.0
取引条件	-9.6	-15.4	-11.5	-13.5	-17.3	-11.5	-17.3	-9.6	-5.8	-5.8	-7.7	-7.7	-9.6	-1.9
収益状況	-3.8	-23.1	-21.2	-32.7	-30.8	-34.6	-30.8	-26.9	-26.9	-40.4	-38.5	-21.2	-23.1	-1.9
資金繰り	-13.5	-21.2	-15.4	-23.1	-23.1	-21.2	-15.4	-13.5	-15.4	-26.9	-21.2	-13.5	-11.5	1.9
設備操業度	12.0	0.0	4.0	0.0	0.0	-8.0	-16.0	-4.0	-8.0	-28.0	-12.0	-20.0	-16.0	4.0
雇用人員	-11.5	-11.5	-5.8	-7.7	-5.8	-15.4	-9.6	-7.7	-11.5	-11.5	-5.8	-7.7	-13.5	-5.8
業界の景況	-13.5	-28.8	-25.0	-32.7	-36.5	-30.8	-19.2	-15.4	-38.5	-40.4	-30.8	-25.0	-23.1	1.9

特記事項

情報連絡員報告（令和4年5月分）

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
食料品	あん類製造業	販売価格へ原料価格高騰の転嫁ができず、苦しい経営をしている組合員が見受けられる。
	酒類製造業	新型コロナウイルス感染予防対策の緩和が発表されアルコールの提供も規制がなくなり少しずつであるが売上が伸びつつある。首都圏に比べ繁華街の人流は少ないが今後期待できる。
繊維工業	染色繊維業	一部で好転が見られるも、原材料の上昇が続き、価格転嫁があまり出来ていない。
	絹・レース・繊維粗製品製造業	前月同様、売上自体は比較的堅調に推移したが、仕入先からの値上げが異様に続いている。春先から毎月値上げが続き、仕入元からは今後も値上げが続くとの報告が上がっている。
木材・木製品	家具・建具製造業	原材料価格の高騰が長期化しており、販売価格に転嫁する努力はしているものの、依然収益を圧迫し続けている。ここにきて受注減少傾向の声もあり、4月の地区内（当団地外）建具製造業者の破綻もあったことから、業界の景況感は悪化しつつある。
	建具製造業	概して、組合員が仕事量を確保出来ていない様子である。金利の大幅上昇も困るが、為替の大幅円安はさらに大問題である。木材・木質ボードなど（大半が輸入材）、資材の高騰もあり安全確保に苦労している。また、以前にも増して人材難に陥っている。
印刷	印刷業	相変わらず需要が低迷している一方、資材価格が高騰してきている。価格転嫁はまだまだ途上で収益状況の悪化に歯止めがかからない。
窯業・土石製品	石灰製造業	鉄鋼向けは、昨年並み。 肥料関係は、6月からの価格値上げ改定により、若干増加した。 建材関係は、碎石、土質ともに前年並みの推移。 全体では、前年並みの数字となった。
鉄鋼・金属	金属製品製造業	自動車関連においては、依然として半導体不足やコロナ関連による上海ロックダウンの影響など、部品不足での稼働停止が相次ぎ、下請け零細企業は減産や休業を余儀なくされている。また、電気料金をはじめエネルギー関係の値上げ要請が厳しく、人件費の昇給など到底無理な状況にある。
	金属製品製造業	自動車部品・機械設備・プレス金型関連ともにコロナ禍による売上低下、人件費増加、人手不足
一般機器	一般機械器具製造業	売上高がやや減少傾向はあるものの、回復する企業が出てきている。仕入れ資材の状況は引き続き高値が続き一部調達に困難な状況も見受けられる。操業度（稼働）はほぼ前年同様の水準となっており、収益状況の減少傾向はあるものの改善が見受けられる。引き続き新型コロナウイルスの感染状況や化石燃料の上昇等を懸念している。
	一般機械器具製造業	ウクライナ情勢・中国のロックダウン等による部品不足の影響が大きく、減産が続き景気は全く良くならない状況である。また、円安傾向が続いているため仕入価格が上昇してしまい利益率を押し下げる結果になっている。
その他の製造業	化粧品卸売業	直接的な影響は出ていないが、ウクライナ情勢のせいかメーカー欠品を起こしている商材が増加している。また、上海のロックダウンの影響により電子部品を必要とするドライバー等の供給が不安定となっている。
卸売業	各種商品卸売業	一部業種を除き全体として売上高、業況等は前年同期に比べ好転となっている。各社とも仕入単価上昇により販売価格も上昇している。

小売業	食肉小売業	全ての原料仕入価格が上がり、値上げが追いつかない。原油・電気を初め一般経費も値上がりしているが、売価に反映できない為、困惑している。
	中古自動車小売業	新車販売の製造が滞り（サプライチェーンの停滞）により減少している。中古車も下取り不足で相場が高止まりしており、仕入も販売も厳しい状態である。
	花・植木小売業	輸入カーネーションや他の入荷が著しく少なく、国内産の花材の価格が高騰した。店頭売り上げは、例年並み。配達、配送は増加傾向にある。葬儀に関しては、家族葬から一般葬へ戻りつつある。供花の受注基数も増加。婚礼は、依然低迷のままである。
サービス業	ビルメンテナンス業	福祉機器の販売高の減少により売上高が減少した。庫内作業請負で外注費を削減し、収益状況は現状維持のままである。
	食品製造業	飲食部門に関しては、少しずつであるが動きが出てきている。一方、食材並びに水道光熱費の高騰が経営の圧迫要因となってきている。
建設業	総合工事業	組合員の一部業者が前年度の繰越工事を実施しているが、多くの業者は手持ち工事がなく早期の工事発注を望んでいる。
	職別工事業	売上高においては前年同月と比較して増加傾向にあるものの、仕入価格が上昇しており、収益を徐々に圧迫している。また、業界全体として人手不足が散見されるようになってきている。
運輸業	貨物自動車運送業	燃料価格の高騰が続いている中、運送事業者の経営に大きなダメージを与えている。日用品輸送においても、消費者の買い控え等により荷動きが鈍い。
	一般乗用旅客自動車運送業	コロナウイルス感染者数も5月中旬ぐらいから少しずつ減少し、週末や平日の日中に関しては人通りが戻りつつある。しかし、近隣利用者が多くまだまだ動きは鈍い。